

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

[記入方法]

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

[用語について]

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホームつどい「柳内家」

(ユニット名) 1丁目(1F)

記入者(管理者)
氏名 坂本 修司

評価完了日 平成19年 10月 21日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>地域の中のグループホームの役割を事業所と地域と共に模索し理念の実現を目視して行きたい</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>職員全員で理念の構築をしたことにより、道しるべとなり日々のケアに繁栄してきている</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>行事などの参加を、ご家族、地域住民に促しホームでのありのままの姿を見て頂く様に配慮している</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>近隣に散歩、買い物、外食等に出かけることにより、グループホームの理解が深まっている。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>教育委員会の要請により、こども避難所の登録。近隣の小学校の通学時の見守り隊を行い、利用者様と共に地域の中での役割を持てるように積極的に働きかけている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実習生やボランティアの受入れを積極的に行い、ホームが閉鎖的にならぬよう努力している		自業所を地域に根づかせる努力をし、地域のホームとしての役割を担っていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全職員で取り組めるよう努力している。		自己評価を全職員で行い、評価結果を真摯に捉え検討していくことによりサービスの質の向上に努めている
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議によりそれぞれの立場から意見を出して戴きサービスの向上に努めている。		運営推進会議を継続的に持って取り組み、サービスの向上につなげていき、地域のホームとしての役割を担っていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員派遣や積極的に関わるよう努力している。		市町村担当者と更に連携を保ち更に向上に努めて行きたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	後見制度や権利擁護についてミーティング等により随時説明し全職員理解を深めるようにしている		今のところ実績はないが、必要な方に活用出来る様に、更に理解を深めて行きたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法に関する研修参加を励行し全職員への理解に向け取り組んでいる。		職員一丸となって、虐待の徹底防止に努めている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>ホームの方針を理解、納得していただいた上で契約を結んでいる。また納得のいくまで説明している。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>いわき市介護相談員の派遣に伴い、利用者様の意見等を第三者的立場から助言を頂く事により運営に対し反映されてきている</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		<p>つどい新聞、生活の様子を毎月発行し暮らしぶり等をお知らせしている。つどいグループ全体広報誌(ほのぼの)を定期てきに発行し会社全体の取り組み等も報告している</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>アンケート調査を定期的におこない意見を収集し、調査内容を開示し、顧客満足度の向上に努めている</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>全職員の意見等を取り入れる努力をするために。フロアミーティングの定期開催、全体ミーティング、個人面談をおこなうことによりコミュニケーションを取れるよう配慮している。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>利用者様、各職員の状態やペースに合わせたシフトを柔軟に調整対応するように努力している</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動・離職は最小限にとどめるように、チームワーク作りをしている。		利用差様が第一である事を常に重要視し最小限にとどめる努力をしている
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキル表をもとに年度教育計画書を作成しスキルアップに努めている。		I S O人材育成規定に伴い随時、自己評価、業務訂正審査用紙、スキル表により各職員のスキルを評価し、段階に応じて育成計画を立てている
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加盟し情報交換をしている。		他事業者との連携を深めネットワーク作りをしている。利用者様と共にホームを訪問したりして交流に努めている。今後は事業者間で交換実習も考慮し活動している
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間のコミュニケーションを密に取ることでよりストレスの軽減に努めている		会社にて親睦会が設立され、福利厚生も充実されてきてストレスの緩和に役立つと考えられる
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己評価表・業務適正審査表・人材育成評価表により全職員のスキル等を把握し向上心を高める努力をしている		能力給の導入に伴い、努力、実績は反映されてきている。又、社内で表彰制度も導入されている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>理念に掲げている通り全ての方にとって心地よい空間作りができるよう日々努力している。</p>	<p>生活のパートナーとして、和らかな暖かい生活が送れるように日々配慮している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族との接点を設けるよう日々努力している。		利用者様のありのままの様子を理解していただく努力をし、ご家族の状況をふまえて接点を作る事により理解が得られるようになり共に支えていく体制ができてきている。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族や本人の状況を見極め外出・外泊・行事への参加を勧めている。		御家族との接点を深められる事により、外出、外泊、行事等の参加が増してきている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出等を積極的に行い、馴染みのある場所や人とのかわりが途切れないよう支援している。		一人ひとりの今までの生活を継続し地域での暮らしを重視し支援していきたい
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	心地よい空間作りを心掛け、気兼ねなくフロアで過ごせるよう雰囲気を作れるよう努力している。		全ての方々にとって心地よい空間づくりを理念に掲げ目視し、関わりを大切にすることを心がけている。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの利用が終了された方でも気軽に来訪して頂けるよう関係を断ち切らないよう努力している。		生活のパートナーとして、入院された方には常々面会に行く努力をし家族としての役割も果たすように心がけている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様の表情・言葉から本人の意向・希望の把握に努めている。</p>	<p>安心して生活できるパートナーとしての関係作りを重視している。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前実調時に生活暦や家庭環境を聞き取りしADL状況確認表に記載し全職員が把握出来る様にしている。</p>	<p>状況に応じて日課表を作成している。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>生活記録への記載・日課表を作成し一日の過ごし方について把握出来る様になっている。</p>	<p>利用者一人ひとりが常に主役であることを認識し活躍できる場面を作る努力をしている。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプラン検討会議を随時開催しアセスメント・モニタリングを行い、又ご家族の意向を取り入れ作成している。</p>	<p>御本人やご家族の要望を積極的に取り入れ全職員で意見交換をし継続的にモニタリング・カンファレンスを行っている。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の見直し・利用者の状況に応じたケアプランの作成をしている。又フロアーカンファレンスによって状況等を把握出来る様にしている。</p>	<p>月1回以上ばフロアーカンファレンスを実施し今後はご家族ももカンファレンスに参加と促し更に充実したいと考えている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個人の生活記録・業務日誌の活用し、日々の情報を把握し共有出来る様にしている。		個別記録の重要性を全職員に認識を促す事により情報の共有化の意識を高められるよう努力している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	ボランティアを積極的に受け入れ、また教育機関等の関係作りができるよう努力している。		地域の幼稚園・学校との相互に連絡を取り合って行事等の協力を行う様にしている。消防署の指導を受けている。
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	本人・ご家族の希望や必要に応じて、近隣の医療機関・居宅支援事業所と連携を取り合っている。		今後医療機関居宅支援事業所の連携を密にサービスの活用支援をしていきたい。
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	地域包括支援センターと相談し会える関係を築いており現状などについて報告している。		運営推進会議を行える事によって関係が強化され情報交換がスムーズに出来る様になってきている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族の希望を考慮しかかりつけ医へ受診している。定期受診は事業者が行い、ご家族への報告を密にとっている。必要に応じて御家族と事業者が同行している。		御本人・御家族の希望を重視しかかりつけ医へのじゅいsんを継続して呪医sんできる体制をとっている。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症医療に熱心な医師に指示や助言をいただくようにしている。		利用者のニーズに沿った受診できるよう努力している。
45			
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご家族や入院先のソーシャルワーカーや医師と連携をとり速やかな退院支援及び今後について話あっている。		ソーシャルワーカーを医師・医療関係者と綿密に連絡を取り合っている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に対する指針を契約時書面により説明し同意をえている。		重度化に対する指針を契約時書面により説明し同意をえている。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人・ご家族の意向をふまえ安全に安心した終末期を迎えられるよう医療との連携を深めている		重度化や終末期に向け医療との連携を更に深めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>ホーム独自のサマリーを作成し書面・口頭にて状況を詳しく説明するようになっている。外泊時においても外泊ノートを作成し御家族様が戸惑わないよう考慮している。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>個人情報の取り扱いについて入社時に同意書を取り周知徹底をしている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>一人一人のニーズに合わせた関わりを重視している。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>一人ひとりの今までの生活を重視し希望に沿った支援を心がけている。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>		<p>御本人・御家族の希望にそった生活が営まれるよう努力している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事全般を利用者と職員と一緒に出来る様心がけ又定期的に自由食を設けている。		職員と利用者様で食事全般を一緒に出来る様常に心がけている。自由食を取り入れることにより出来る限り食べたい物を食べていただく努力をしている。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	出来るだけ今までの生活を重視して嗜好の支援をしている。		御本人・ご家族の希望に沿って提供出来る様支援している。
56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄間隔を把握し声かけ誘導することにより、基本的にトイレで排泄が出来る様にしている。		排泄チェック表を作成し排泄間隔を把握しトイレでの排泄を基本としている。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を保清だけに捉われず、入浴を楽しめるよう心がけている。		職員が寄り添う事により安産に入浴出来る様援助している。又季節に応じて入浴剤を工夫したりし楽しいバスタイムであるよう配慮している。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムを重視した支援が出来る様努めている。		個々にあったライフスタイルで活動を促し安眠・休息を支援している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	生活全般を共に支援出来る様配慮している。		園芸活動・家事活動を積極的に取り入れ経験を発揮出来る様考慮している。園芸療法を取り入れていくことを視野にいれ準備をしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している（認知症対応型共同生活介護）	利用者様の力量に応じ、金銭を所持したり出来る限り金銭のやり取りが出来る様支援している。		積極的に買い物・外食等を励行し自分で支払う楽しみを重視し支援していきたい。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	事業所目標に掲げ外出の機会を増やせるよう努力している。		地域との交流を重視しプロセス目標・事業所目標に掲げ実施している。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している（認知症対応型共同生活介護）	ご家族の協力も得ながら支援できるように努めている。		日常的な外出と共にレクリエーション委員会を設立し積極的な活動を行っている。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	ホームの電話を利用し希望に応じて日常的に電話が出来る様に支援している。（ご家族の了承をえて）年賀状等を出す為の支援を行っている。		ご家族の良書を得たうえで積極的にやり取りが出来るよう配慮している。
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している（認知症対応型共同生活介護）	ご家族や知人が来訪された時はゆっくりと過ごしていただけるよう配慮している。		いつでも、だれでも気軽に訪問出来る様雰囲気作りを心がけている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わないということを基本とし、全職員に身体拘束による弊害を周知している。		職員と利用者様が寄り添って生活し随時状態を把握することにより拘束をしないケアに取り組んでいる。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠しない事を心掛け、安全で自由に生活出来る様に支援している。		利用者様の不安を取り除ける生活空間を作り、環境・支援内容・注意点等について情報を共有し細やかな連携に努めている。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し、昼夜通して安全に生活出来る様に支援している。		利用者様の状況を的確に判断し生活全般を見守ることにより安全に生活出来る様配慮するようにしている。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人一人の状況に配慮して、危険を防ぐ取り組みをしている。		一人一人の状況を把握する努力をし、状況に応じた取り組みをするようにしている。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態を把握し、共有認識を持つことにより事故防止に取り組んでいる。		問題点等をフロアーカンファレンスで話し合い 常々事故防止に取り組んでいる。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルを作成し周知徹底を図り、ほぼ全職員普通救命講習会を受講している。又定期的に応急手当の勉強会を実施し救急の対応に備えている。		消防署の指導により救命講習会を受講し各職員の危機管理意識を高める努力をしている。定期的に反復し緊急時に備え学習している。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署指導のもと非難訓練を実施している。運営推進会議で地域の協力体制を呼びかけている。		消防署の指導を仰ぎ避難訓練を実施している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者様のありのままの状況を随時ご家族へ報告を理解を頂けるよう配慮している。		起こりうるリスクについて御家族様へ話をしてい る
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	リスク管理を徹底しわずかな変化を見落とさないよう全職員に周知している。		医療との連携を重視し、早期受診をするようにし ている。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	配薬チェック表を利用し、配薬ミスが無いよう管理している。処方箋ファイルを作成し全職員が閲覧出来る様にしている。		医師・薬剤師との連携を図るようにして薬剤の目的や副作用等を随時確認できる体制を整えている。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取量・運動に充分注意し、医師に相談をし個別に応じて排便コントロールを行っている。		医療機関と連携し排便コントロールを行いながら自然排便を出来る様に取り組んでいる。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアの声かけを行い、力量に応じて見守り・介助をし保清している。		日課表に取り入れることにより的確に実施出来る様に取り組んでいる。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立で栄養管理を行っている。摂取量に関してはバイタルチェック表に記載し把握出来る様にしている。		状態や習慣に応じた支援をするよう心がけている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを作成し全職員に周知徹底している。		医療機関と連携し感染予防に努めている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・布巾等は毎日漂白剤で消毒している。		日本医療食研究所を委託し、食材管理を徹底している
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にプランターを設置し明るい雰囲気作りを行っている。		園芸活動を通して、四季の花々を栽培し、ひたし身やすい雰囲気作りをしている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。		フロアーが暗い為照明に注意している。又雰囲気作りに明るい掲示物を掲示するようにしている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室スペース・ソファを設置し自由に過ごしていただけるよう配慮している。		一人ひとり自由に過ごせるように配慮している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	写真や作成した物を掲示しその人らしい居室にな るよう努力している。		使い慣れた物やなじみのものを持ち込んで頂く様 にご家族に提案している。
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	24時間換気・室温管理をし、又個別に応じた室 温調整を行っている。		24時間換気・室温管理をし、又個別に応じた室 温調整を行っている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	フロアやトイレ等には手すりを設置し安全に自 立した生活ができる様配慮している。		一人一人の身体状況を考慮し出来るだけ自立した 生活を送れるようにしている。
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	一人ひとりの状況を随時把握し、混乱を防止出来 る様勤めている。		混乱を回避する為目印なるものを掲げている。
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	園芸活動を取り入れ、園芸療法に向け努力してい る。		園芸活動を通して、四季の花々を栽培し、ひたし 身やすい雰囲気作りをしている。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない その他()
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護業界では数少ないISO9001認証取得し、業務やサービスを常に改善し質の向上に取り組んみ忠実に行う事により統一されたケアを目的としている。ホームの理念に基づき心に寄り添ったケアをすることしより、全ての方々にとって心地よい空間作りを職員一丸となって取り組んでいる。